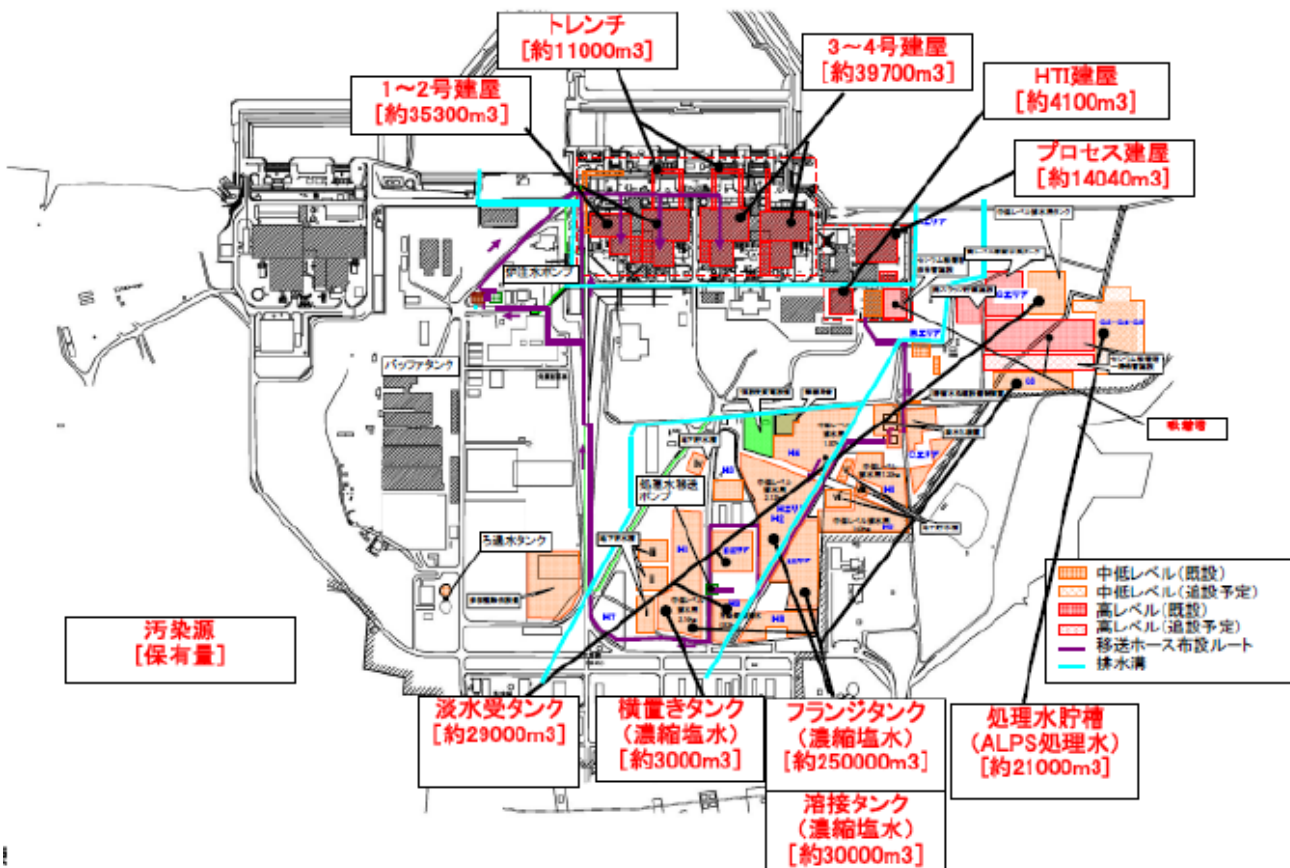
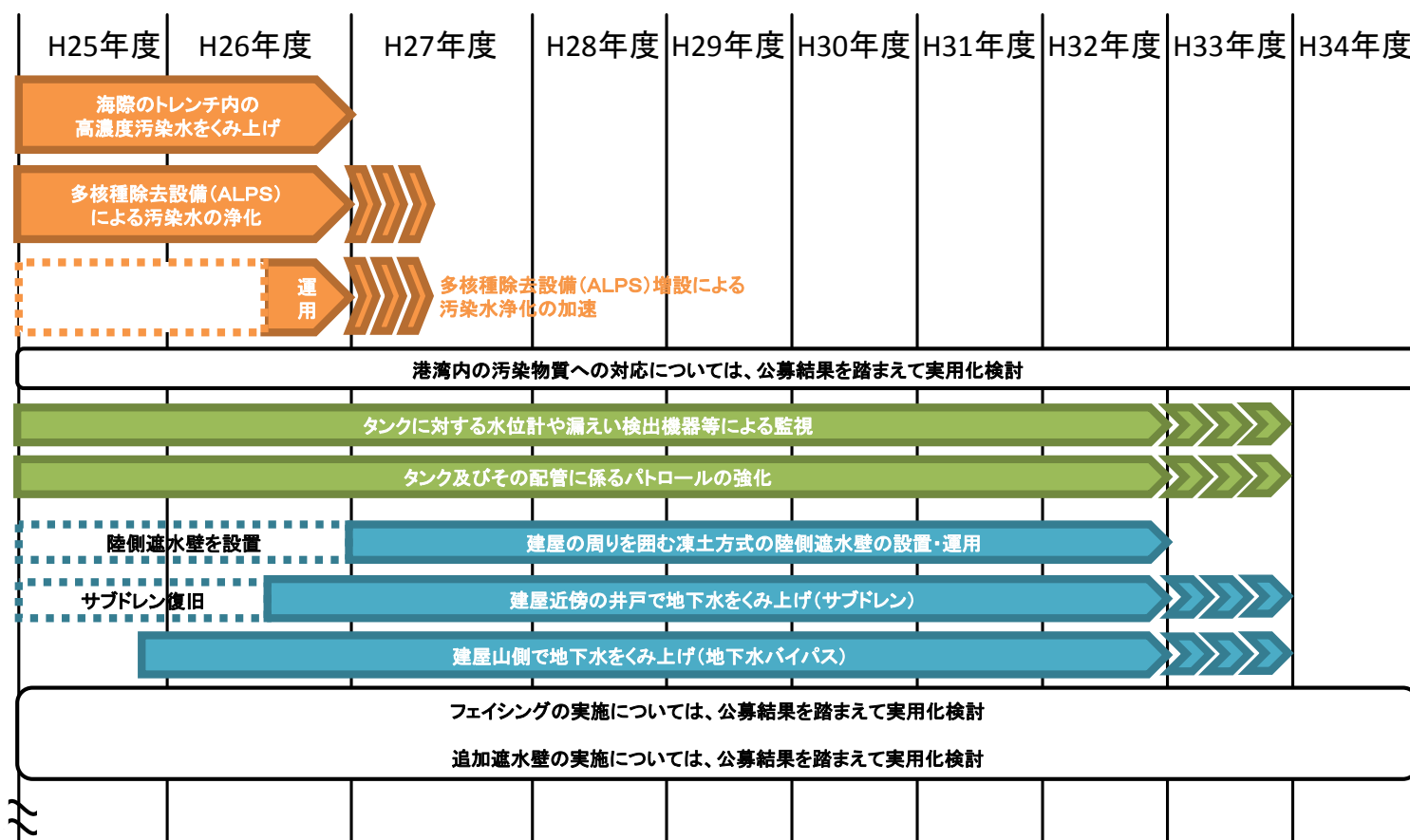


◆サイト内における汚染水の場所を特定し、各場所にどの程度の汚染水が存在するのかを整理。



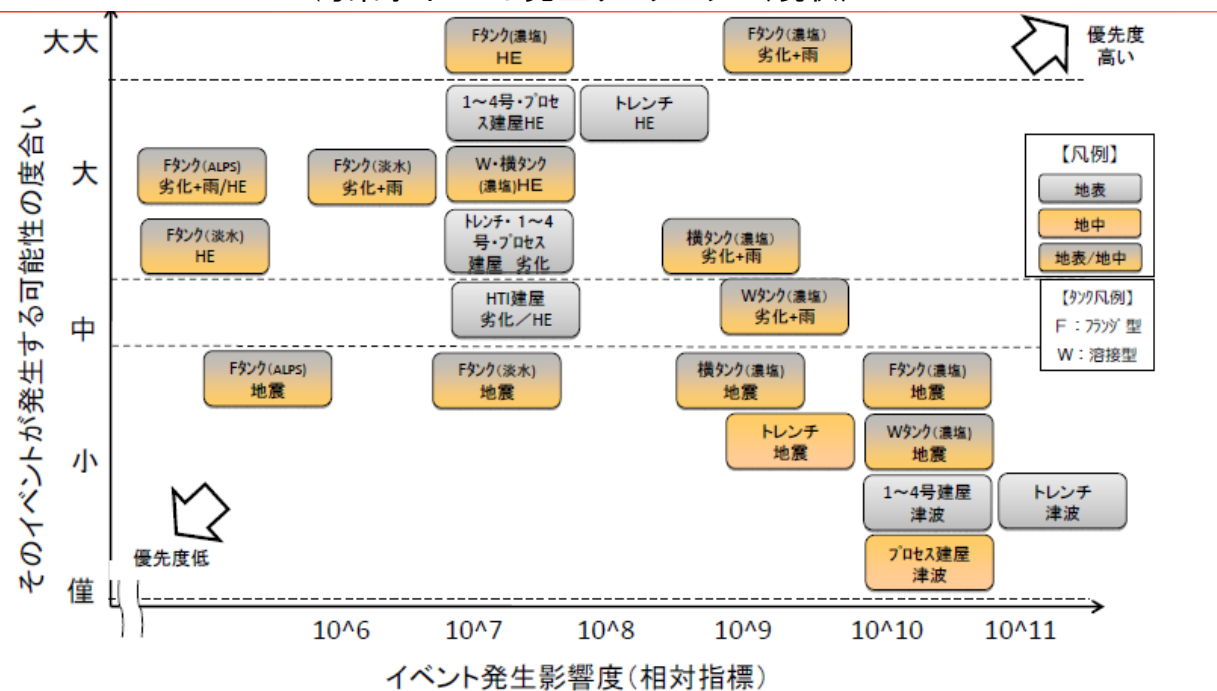
◆対策毎の想定工期、対策毎の難易度(社会的・技術的課題)、対策実施に伴う影響、他の対策との相互関係等の考え方を整理し、地下水シミュレーションの解析結果を踏まえ、実施スケジュールを作成。



◆流出経路、流出事象の発生頻度、想定漏えい量等について考え方を整理し、現況のリスクを評価。

◆将来的に大量のトリチウム水を貯蔵しているリスクが残るため、トリチウム水の取扱いが課題。

汚染水イベント発生リスクマップ(現状)



汚染水イベント発生リスクマップ(平成●●年度末)

